

しとく 木に秘められたパワー

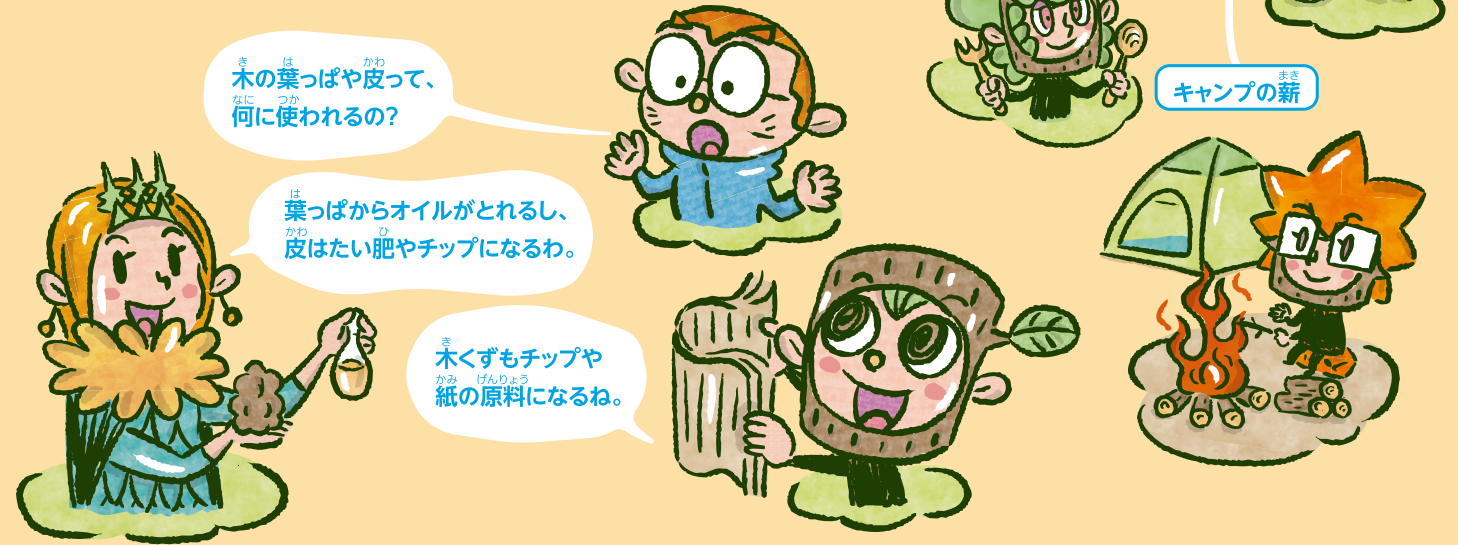
捨てるところがなくて、
とってもエコロジー。

山から伐りだされた木は市場などを通じて、
さまざまな大きさの形に加工する製材所など
へ運ばれます。

そこでは建物の柱、床やかべなど、つかい道
に合わせて木を切り分けます。こうして木の
第二の人生がスタートします。

木のすごいところはここからです。切り分け
ている中であまった部分は、スプーンやお箸
などの食器、積み木やおもちゃ、キャンプで
つかう薪など、幅広い場面でつかわれます。
さらにちいさな破片、丸太の皮、木を切るこ
とで出る木くずや葉っぱなども、紙の原料や、
燃料になるなど、工夫してつかうことで、まっ
たく捨てるところがないのが特ちょうです。

そして、やくわりを一度終えて廃材になっ
ても、木質ボードやチップ、紙などに再利用さ
れます。わたしたちの暮らしのさまざまなと
ころで、役立てられています。



木の葉っぱや皮って、
なににつか
何に使われるの？

葉っぱからオイルがとれるし、
皮はたい肥やチップになるわ。

木くずもチップや
紙の原料になるね。



再生できる資源。



人が植え、育てる森林のことを人工林とい
います。スギやヒノキの苗木を山に植える植林
からはじまって、雑草から苗木を守る下刈り、
雑木などを伐る除伐、生長して混みすぎた
植林を伐る間伐などをします。そして十分に
育った木を伐って、木材としてつかいます。

この植える、育てる、伐る、また植えるとい
うサイクルには、50年から80年がかかると
いわれています。植えた木はとても長い年月
をかけて育てなければいけません。でも限り
ある資源の石油や石炭と違い、人が手をかけ
ることで再生して、ずっとつかい続けることが
できます。資源やエネルギーという点でとて
もすぐれているのです。

また一本一本の木は、光合成により空気から
二酸化炭素を取りこみます。そのため森林は、
地球温暖化の防止に役立っています。
皆さんが森林に関心を持つことが、元気な山
を守ることに繋がっていきます。

木は二酸化炭素を体に
取りいれて生長しますわ。
そして酸素もつくってくれますわ。

林業は再生できる木を
育てる仕事なんだね。

立派な木に
なりました。

あれから
数十年...